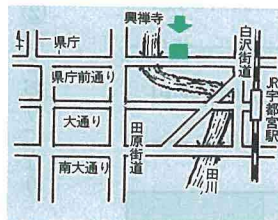
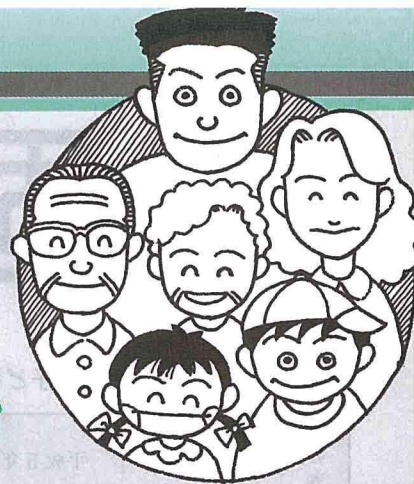




興禅寺の「木造釈迦如来坐像」は、
二千年の代駒五丁の街に静かに佇む人々の生活

ふあいの 広場



理想的な姿勢で禅を組んでいる興禅寺の仏像は、南北朝時代に彫られたものです。「四度も戦災に遭い痛々しいところもありますが、表情はそれを感じさせません。仏像は見る人の心を写します。心にやましいことがあると怖い表情に、そうでないときはやさしい表情に見えるでしょう。お寺は心の洗濯をする所

です。毎月一回座禅会も行っていますので、ぜひおいでください」
(昭和33年1月24日、市指定文化財)。



「木造釈迦如来坐像」

今泉3丁目 石川元信さん

文化財ウォッチング